

(前ページより)
たのは衝撃的な出来事であった。山の会では、山行の自粛があいつぎ、私が講師として参加している東京山スキー学校も卒業山行が取り止めた。この時、宿泊先で、まず義援金を募ってほしいと決めた。震災10日後には、チャリティ山行と名付けて山行活動を再開するとともに参加者にワンコインの募金を呼びかけ始めた。

会の運営委員会にも提案をして、強制にならないように山行時のワンコインチャリティを会員にもお願いするようにした。

復興支援のボランティア活動も自己完結型の山行活動に慣れた山の会のメンバーであれば、ピッケルをスリッパに、登山靴を長靴に、アイゼンを踏み抜き防止インソールに替えるだけでやれると考えた。4月に入って会員にボランティア活動への参加を呼びかけ宮城



宮城県石巻市の宿泊場所での食事風景

城石巻市へと出かけた。11名でビニールハウスのドコ撤去をさせていた。農作業に不慣れた登山者はこのくらいしかできないだろうと土嚢袋300袋を用意していたが、途中で500袋を買い足した。最後は袋が足りなくなった。被災地の惨状からみれば、最後の砂でしかないが、今度も復興支援の一助になる

の方から涙声でお礼言われた時は、こちらも目と心が熱くなった。

これまでの会員の熱意により大田山の会だけで100万円を超える募金と毎月一回の60名以上のボランティア活動への参加があった。被災地の惨状からみれば、最後の砂でしかないが、今度も復興支援の一助になる

東日本大震災救援募金は このように使っています

(1万円以下は四捨五入)

●被災県連へのお見舞い金	
岩手県連 第1次	50万円
岩手県連 第2次	100万円
宮城県連 第1次	50万円
宮城県連 第2次	100万円
茨城県連	50万円
合計	350万円

(※県連へのお見舞い金は、被災県連の活動維持、救助活動や、県連の判断により支出する被災会員への支援金等のために給付。福島県連は被害なしとの申告のため支出せず)

●被災会員へのお見舞い金	
全壊	10万円×18件
半壊	5万円×26件
家族死亡	2万円×16件
合計	342万円

- 救援物資購入 87万
銀マット、ガスボンベ、防寒上着等
- 一般被災者救援活動補助
栃木県連へ 50万円
千葉県連へ 30万円
- その他 12万円
救援物資送料、トラック横断幕作成等

7月末までの支出合計 871万円
残額 759万円

るよう会員とともに活動していききたい。

救援募金へのご協力 ありがとうございました

東日本大震災にあたっては、全国連盟の呼びかけにこたえて救援募金と支援物資をたくさんお寄せいただきました。まさに、登山の仲間連帯感あふれる取り組みだと思えます。募金額とこれまでの使われ方は表のとおりです。その対象は、被災した登山会員への救援活動にも使われています。

これから、被災地での生活再建が本格化し、そのための支援金支出が予定されています。これは、長い取り組みになるでしょう。また、福島県連等からは、登山道の安全性を確認するための放射線測定機購入要望も出されています。

すでに多くの皆さんが募金をお寄せいただいたことと思います。募金と救援ボランティアは今後も続きますので、さらにもう一回り、皆さんのご協力をお願い致します。

個人会員制 新提案まとまる

「山ガール」という言葉が最近よく使われるように、登山の世界にも若い人たちの姿が増えてきました。しかし、そうした人々を従来の山岳会やハイキングクラブは、十分に組織できていないのが現状です。登山文化の継承発展のためにも、こうした人々を新しい組織形態で、大胆に仲間として受け入れることはできないか—こんな問題意識から、新しい制度として「個人会員制」導入が提案されています。これ

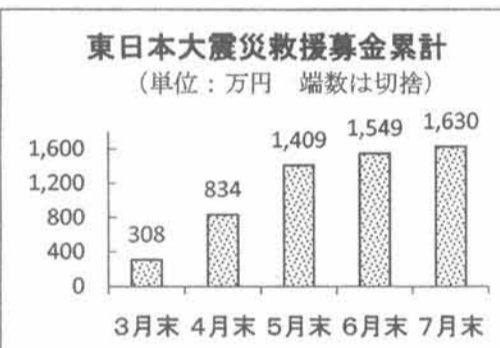
11月全国評議会にむけ 討議を深めよう

その後、東日本大震災が発生し日程が1カ月程遅れましたが、全国評議会は「個人会員制導入第2次プロジェクトチーム」(以下PT)と略す)を4月15日に設置しました。メンバーは、

川嶋・全国連盟事務局局長を責任者、大澤理事を事務局長とし、他に斎藤理事長、石川、井岸、後藤、高橋、本多、広木の各理事が加わっています。PTは7月までに5回の会議を開催し、

川嶋・全国連盟事務局局長を責任者、大澤理事を事務局長とし、他に斎藤理事長、石川、井岸、後藤、高橋、本多、広木の各理事が加わっています。PTは7月までに5回の会議を開催し、

この提案については、11/3の第2回全国評議会を経て、来年(2012年)2月に開かれる第30回全国総会では是非を討議、決定していく予定です。各会・地方連盟で討議を深めていただきますよう、お願いいたします。



すでに多くの皆さんが募金をお寄せいただいたことと思います。募金と救援ボランティアは今後も続きますので、さらにもう一回り、皆さんのご協力をお願い致します。

各地方連盟による被災地救援ボランティア活動一覧(3月~7月)

地方連盟	実施月	場所	活動内容	回数と参加者数
青森	4月	岩手県大槌町	被災登山会員宅の整理・清掃、汚泥排除	1回6名
岩手	3月~		被災登山会員宅の整理、ガレキ撤去、ボランティア受入等	多数回、人
宮城	3月~		被災登山会員宅の整理、ガレキ撤去、ボランティア受入等	多数回、人
群馬	3月	岩手県岩泉町他	捜索、ガレキ撤去等	1回4名
	4~7月	宮城県石巻市	農家ビニールハウスのガレキ・ヘドロ撤去	4回29名
	6月	宮城県東松島市	農家ビニールハウスのガレキ・ヘドロ撤去	1回24名
栃木	4~6月	宮城県気仙沼市	被災個人宅家財道具搬出、ヘドロ排除、海岸清掃	4回110名
	7月	宮城県石巻市	農家ビニールハウス・水田のガレキ・ヘドロ撤去	2回22名
東京	4~7月	宮城県石巻市	農家ビニールハウス・水田のガレキ・ヘドロ撤去	5回74名
千葉	4~7月	宮城県気仙沼市	被災個人宅家財道具搬出、ヘドロ排除、海岸清掃	6回122名
	6月	宮城県石巻市・東松島市	農家ビニールハウス・水田のガレキ・ヘドロ撤去	7回131名
静岡	6月	宮城県岩沼市、亘理町、山元町	ボランティアセンターから依頼された作業	1回41名
滋賀	4月	宮城県石巻市	被災登山会員宅の整理・清掃、汚泥排除	1回5名
	6月	宮城県東松島市	農家ビニールハウスのガレキ・ヘドロ撤去	1回2名
京都	4~6月	宮城県石巻市	被災登山会員宅の整理・清掃、汚泥排除、農家ビニールハウスのガレキ・ヘドロ撤去	4回17名
福岡	3月	宮城県南三陸町~気仙沼市	薪ストーブの配布	1回4名

※(お断り) この表は、各地方連盟より全国連盟に報告のあったものや県連ニュースなどにより作成しました(会主催で実施したものも、地方連盟単位で整理しました)。これ以外にも、個人でのボランティア参加や、地方連盟・各会で実施した救援活動があると思います。記載もれの場合はたいへん申し訳ありません。あらためて、全国連盟まで、ご報告ください。

被災会員の生活 再建を支援します

住家屋が全壊、または半壊の被害を受け、生活再建のために多額の資金を必要とする被災者。①または②に該当し、所属地方連盟理事長が認定した登山会員(全国を対象とする)

1. 対象者 ①または②に該当し、所属地方連盟理事長が認定した登山会員(全国を対象とする)

2. 内容 ①同じく震災に起因し、職を失うなど収入の道を断たれた会員。

3. 申請方法 該当者を地方連盟でまとめ、所属会、氏名、適用理由を全国事務局までメール、FAX、郵送でお知らせください(用紙あり)。

おおよその余震により、居 全国連盟より支援金の交付

青年学生委員会主催 沢登り講習会

学生・青年登山者のレベルアップを目指して！

とに受講生が意見を出し合っている。現在位置を確認した。パベルアップを目指して！

講師 後藤真一（全国理事）
川嶋高志（全国事務局長）
今井雅文（全国遭対部長）
受講生 藤巻慎（東京薬科大学WV部）、高良周作（三島山）、赤須喜一郎（HCのんびり）、前田工、前田奈映、藤沼昌利、三橋正弘、加藤共重（以上無所属）

恒例の沢登り教室。学生山岳部やWV部を対象とし、将来の登山界を担う次世代登山リーダー育成を目的として行っている。

今年は一回だけでなく秋に泊りがけのパート2を開催するため、水量が比較的少なくかつ易しい滝もほどほどあって短めの西丹沢・マスキ風沢で実施した。

参加者は当初、学生3名、元学生8名の計11名であったが当日体調面や仕事の関係で3名が欠席し、受講者8名となる。年齢層は43歳から20歳まで40歳代2名、30歳代4名、20歳代2名と青年学生委員会主催らしい構成だった。

全員の初心者を含む講習会なので、単に沢を通行するだけでなく事前に作成した地形図を基にポイントごとに奥秩父東沢釜ノ沢である。

次回、同委員会主催の沢登り教室は10月中旬土日で沢中ピバークを前提とした奥秩父東沢釜ノ沢である。



南アルプス鳳凰三山薬師岳山頂付近から見る富士山

中央登山学校 指導者セミナー

7月2〜3日、全国連盟など新しく登山を始める層事務所で開催した。初日は昨年発行された「15年戦争下の登山」をもとに登山史について著者の西本会長が講演をおこなった。続いて齊藤理事長が登山界における登山の役割を講義、今後少子高齢化やITの普及により自然と触れあう機会が希薄になる中で山ガールが希薄になる中で山ガール



ゴルジュからシャワークライムの滝に向かう

を主催した。関西大学の青山千彰教授の報告があり、パネリストとしては村越教授・日本山岳ガイド協会の磯野専務理事・日本山岳協会の西内常務理事・国立登山研修所の東専門職員・登山からは川嶋が参加。試験的に登山者側からの意見も反映する目的があった。昨年沢の事故で東京都連盟がお世話になった埼玉県警山岳救助隊からも発言があり、一定の成果があった。

全国山岳遭難対策協議会

登山団体からの減遭難対策を考えるシンポジウム開催

7月7日（木）東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。この会議は文部科学省・警察庁・消防庁・気象庁・日本山岳協会などが主催し、毎年山岳遭難対策関係者が一堂に集まり事故防止のための活動を話し合う。以前は全国の都道府県で持ち回り開催だったが、3年前から東京に限定して開催され2日間日程も1日に短縮して行わ

れている。このため分科会や交流会がでなくなり、講義と報告を一方的に聞くだけになってしまった。今回は大津市消防局から「レスキューポイント」設置に関する報告がされ、登山時での連載「地図読み迷入」を執筆されている静岡大学の村越真教授からの「道迷いの遭難のリスク」についての講義があった。

終了後、日本山岳協会と日本勤労者山岳連盟が主催して「登山団体として遭難対策は何をすべきか」というテーマでシンポジウム



シンポジウムでパネリストとして発言する川嶋事務局長

山岳4団体役員懇談会

毎年恒例の懇談会で今回は山岳4幹事団体。7月12日に東京・飯田橋で開催。

（社）日本山岳協会は10年ぶりに会長が交代した。

（社）日本山岳会も副会長はじめ理事の半数以上が新任となった。

各団体の活動報告と公益法人化対策や山岳共済制度、東日本震災への対応や「山の日」制定協議会の活動など幅広く意見交換が行われた。

出席者（順不同）
（社）日本山岳協会
神崎忠男会長、内藤順造
八木原昭副会長、尾形好雄専務理事・事務局長
（社）日本山岳会
尾上昇会長、吉永英明副会長、森武昭・高原三平常務理事、成川隆顕評議員
（社）日本山岳ガイド協会
磯野剛太専務理事、武川俊二理事
日本勤労者山岳連盟
西本武志会長、齊藤義孝理事長、石川友好・井芹昌二、高橋友也、藤元理津子副理事長、川嶋高志事務局長、花村哲也理事

北アルプス 白馬山麓 労山会員特典割引

- 価格について
- 梅池高原（一割引）（11/3まで）
通常価格 大人 3300円 子ども 1750円
労山会員価格 大人 2950円 子ども 1550円
ゴンドラとロープウェイの往復券と『梅池自然園』入園券付きの価格
 - 八方尾根（一割引）（11/3まで）
通常価格 大人 2600円 子ども 1460円
労山会員価格 大人 2340円 子ども 1320円
八方ゴンドラ+アルペンリフト+グラードクワットの往復券の価格
 - 岩岳ゆり園（～8/31、10/7～11/13）
通常価格 大人 1400円 子ども 700円
労山会員価格 大人 1300円 子ども 650円
岩岳ゴンドラ往復+『岩岳ユリ園』入園券の価格

※確認方法 現地窓口（乗車券売り場）で「日本勤労者山岳連盟」会員証を提示
会員証1枚につき合計5名まで割引対象とする。

※適用期間 グリーンシーズン（夏～秋営業期間＝「白馬観光開発」のHPにも掲載されているが、今年は上記のとおり）のみ④今シーズンは往復乗車券のみ適用（来季以降は片道も検討）⑤利用状況により冬期間も検討してくれます。

- 秋の全国行事
- 第9回全国救助隊交流集会
日時 10月1日12時受付～2日12時閉会
場所 大洲国立青少年交流の家（愛媛県大洲市）
参加費 3000円（二泊三食付）
参加対象 指導的な救助隊員及び救助に携わる隊員
記念講座「山岳事故救急医療現場から」小山徹氏
主管 香川県勤労者山岳連盟
主催 日本勤労者山岳連盟 遭難対策部
- 西日本女性担当者交流集会
日時 11月5日12時半受付～6日14時閉会
場所 中尾山高原平成荘（徳島県美馬市）
参加費 6000円
参加対象 各県連・各会の女性担当者・関係者
講演「百歳になっても山登り！山筋ゴーゴー体操」石田良恵氏
6日の登山コース
①一の森・剣山（約5時間）
②剣山・次郎笈（約4時間半）
③丸笹山・中尾山（約4時間半）
主管 四国ブロック
主催 日本勤労者山岳連盟
- 沢登り講習会
日程 10月14日夜～16日
場所 奥秩父東沢釜ノ沢
受講費 学生・無料
参加対象 学生以外・千円
参加対象 初心者・初級者
沢の中で初めて宿泊を体験したい方
主催 日本勤労者山岳連盟 青年学生委員会
- 全国自然保護担当者会議
日程 11月19日～20日
場所 日光市交流促進センター1（栃木県日光市）

2011 伊豆長岡・おとり荘

第18回 全国ハイキング交流集会

★日時 9月17日（土）13:00～18日（日）12:00

★会場 伊豆長岡温泉 おとり荘
★参加費 13,000円（1泊2食付） 日帰り参加は1日1000円

★募集 100名

○交通 東海道新幹線・三島駅乗り換え 伊豆箱根鉄道「伊豆長岡」駅より徒歩15分
※長岡駅と三島駅から送迎バスを出す予定（参加者に後日通知します）
車で来られる方は東名高速・沼津ICより40分

主催：日本勤労者山岳連盟（ハイキング委員会）
主管：静岡県勤労者山岳連盟

『山の日』をつくらう

自然の恵み忘れぬよう 山岳5団体が一致して

いま、日本勤労者山岳連盟や日本山岳協会、日本山岳会など山岳にかかわる5団体が協力し、国民の祝日としての「山の日」を作ろうと運動を進めています。道庁に山の無い所はない、日本は海に囲まれた国で、同時に山の国でもあります。山は農業をめぐむ清流のふるさとであり、昔から日本人の暮らしに深くかかわってきました。

しかし、便利になった現代の生活では、山の美しさと豊かさをとすれば忘れがちになってしまいます。国民の祝日として「山の日」を制定し、多くの国民に山に目を向けてもらうことで、山の豊かさを次代に引き継いでいこうというのが、この運動です。

当初の発起団体は日本山岳会でしたが、去年4月9



山を
考える

く、沖縄にさえ山がありません。山は農業をめぐむ清流のふるさとであり、昔から日本人の暮らしに深くかかわってきました。

しかし、便利になった現代の生活では、山の美しさと豊かさをとすれば忘れがちになってしまいます。国民の祝日として「山の日」を制定し、多くの国民に山に目を向けてもらうことで、山の豊かさを次代に引き継いでいこうというのが、この運動です。

当初の発起団体は日本山岳会でしたが、去年4月9



東日本大震災救援 労山特製Tシャツ

○価格：2500円（復興支援カンパ1000円を含む）
○色とサイズ：オレンジ（S、M、L）紺（S、M、L）※サイズの目安は男性用です。
○デザイン：胸に東北の山（権さん）の2種類。左上腕にJWAF 東日本大震災復興支援の文字
○材質：タクロン（70%）と綿（30%）の混紡
○申し込み先：日本勤労者山岳連盟事務局にメールまたはFAXで
○申込方法：できるだけ会費・クラブ単位で、図柄、色、サイズ、枚数と送付先の郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記
○支払い方法：Tシャツに同封する郵便振替用紙で振り込んで下さい。
※送料は全国運賃負担です。※当初の製作は1000枚です。色柄サイズ切れの場合は一ヶ月ほど時間がかかります。※大量注文の場合は色・サイズなど、別途ご相談下さい。

日に、日本勤労者山岳連盟 覚て山への関心を誘う「Q」と日本山岳協会、日本山岳会、HAT-J 労山各地方連盟・各会にも（日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラス）を加えた5団体が一致して「山の日」制定協議会を結成しました。日本の登山団体が一致して一つの運動にとりくむのはかつてなかったこととす。

すでに、機運を盛り上げるための「山を考えると」リーフレット（写真）が3種類各10万部作成され（山編、健康編、安全編、今後も続編が予定されています。その中には、「山の日」づくりの趣旨だけでなく、クイズ感

このリーフレットを会員に配布したいという団体や、さまざまなイベントでの宣伝物に活用したいという団体は、労山各都道府県連盟や労山全国事務局にお問い合わせください。

このほか、記者会見や国要請行動、「山の日」関連イベントへの関与、マスコミへのアピールなどが行われ、制定の目安は2013年としています。

山の動物どれだけいるの 姿を見たら一報を

私たち登山者は、野生動物の棲みかを活動のフィールドにし、これらの動物に遭遇することも楽しみの一つにしています。近年、ライチョウなどの減少が心配されています。山岳自然と新しい共存を

その反面、シカやサルなどが3kmの山岳地帯にまで現れ、高山植物へ被害を及ぼすなど、山岳地帯の生態系全体に深刻な影響を及ぼしています。山岳自然と新しい共存を



山の野生鳥獣 目撃レポート

このレポートでは、登山者の皆さんの参加で、山で目撃した野生鳥獣の情報を集めています。



あなたの目撃情報が、自然の生態系を守ります。山岳団体自然環境連絡会、HAT-J、ECHO

めざしていくことは、私たち登山愛好家にとって大きな関心事にもなっています。労山自然保護憲章の第1章には、「登山活動を通して、自然を見る目をやしな、自然の変化をとらえ、山と地球環境の環境保全に寄与することを謳っているように、山岳自然を守り登山文化の継承発展に

【レポート内容】
ライチョウ、シカ、クマ、カモシカなどを見かけたらパソコンや携帯メールで目撃情報をご連絡ください。
◆対象地域：標高500m以上の全国の山岳
◆調査期間：2009年～2014年
○どんな動物でしたか
○どれほどの数でしたか（目撃数、雌雄、親子等）
○何日でしたか
○何時ごろでしたか（午前、午後）
○どこでしたか（都道府県、山名、山頂）
○どんな場所でしたか（標高、高山植物帯、ハイマツ帯、植生）
○どんな天気（快晴、晴れ、曇り、雨、霧等）

寄与していくことが求められています。山岳に於ける野生鳥獣の生息状況と、その実態は詳しく把握されたい、自然を見る目をやしな、自然の変化をとらえ、山と地球環境の環境保全に寄与することを謳っているように、山岳自然を守り登山文化の継承発展に

そこで、「山岳団体自然環境連絡会（日山協、労山、日本山岳会、HAT-J）」をクリックすると「山の野生鳥獣目撃レポート」を実施しています。山岳自然と新しい共存を

レポートポータルサイトに移動します。そのポータルサイトの左下の「いますぐレポート」をクリックすると、レポートでできるようになっています。写真がありましたら、労山本部・自然保護委員会に送信していただければ、画像によるレポート収集欄に掲載します。労山会員のレポートへの参加をお願いします。携帯電話の場合も右のQRコードからアクセスできます。

携帯サイト
レポートフォーム



山野井泰史講演会

不倒のクライマーの挑戦

2011/11/12

18:00開場 18:30開演 20:30終了

エル・おおさか2階エル・シアター

■入場料：前売り1000円、当日1200円

チケットは下記ホームページの申し込みフォームよりお申し込み下さい。

http://www.owafycf.org/